



シンガポールの正月は年4回！

北陸銀行 国際部
シンガポール駐在員事務所
所長 上原 清志

1. はじめに

ここシンガポールには正月が年4回あることをご存知でしょうか。シンガポールは1965年の独立以来、多民族国家・多宗教を尊重する国家であるというアイデンティティを明確に打ち出しています。そのため、華人系・マレー系・インド系という3大民族の宗教や文化を平等に尊重するという国家政策に基づいて、関連する正月を全て休日としています。

今回は、シンガポールで年4回ある正月について少し触れながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動規制がほぼ撤廃された中、2022年10月24日に行われたインド系(ヒンドゥー教)の正月であるDeepavali(ディーパバリ)のイベントを中心にご紹介いたします。

2. シンガポールの正月(2022年)

正月の日付	正月の名称	民族
1月1日	新暦正月(New Year's Day)	日本人や欧米人など
2月1日	旧暦正月(Chinese New Year)	華人系
5月3日	ハリラヤ・プアサ(Hari Raya Puasa)	マレー系(イスラム教)
10月24日	ディーパバリ(Deepavali)	インド系(ヒンドゥー教)

正月ひとつをとっても、シンガポールでは各民族の文化や宗教に触れることができる機会が多く、お互いを尊重しながら共存共栄しています。私たち外国人も異なる文化・宗教への関心・尊重が自然と高まります。

(1) 新暦正月

私たち日本人にとってお馴染みの正月ですが、欧米同様当地でも単なる祝日の扱いで正月三が日も無く、週末でない限り1月2日から普段通りに仕事があります。

(2) 旧暦正月

いわゆる「春節」と呼ばれており、実際には2日間あります。旧暦で計算されるため、2023年の旧暦正月は1月22日になります。

(3) ハリラヤ・プアサ

正確には1か月の断食(ラマダン)明けを祝う祝日です。イスラム教における新年開始(正月)はこのハリラヤ・プアサの3か月後の月と定められています。また、イスラム暦によって日が決まるため、2023年のハリラヤ・プアサは4月22日になる予定です(宗教関連者による新月観測で最終決定されます)。

(4) ディーパバリ

インドのヒンドゥー教のお祭りの一つであり、悪に対する善の勝利を祝福するものです。尚、本国インドではDiwari(ディワリ)と呼ばれています。今年はパンデミック前に行われていた様々な関連行事も感染防止対策をしながら盛大に開催されました。

ディーパバリは非常にきらびやかな正月イベントであり、またの名を「光の祭典」とも言われています。リトルインディアでは孔雀がデザインされた煌びやかなゲートやイルミネーションの連なりなどで非常に賑やかな雰囲気になります(下記写真)。余談ですが、ヒンドゥー教では孔雀は勝利と愛、知恵を象徴しています。

ヒンドゥー教徒の家庭では、この日、自宅をランプで美しく飾り、プレゼントを交換しご馳走を振る舞い、ヒンズー教の豊穡と富を司る女神ラクシュミなどへのプージャ(お祈り)を捧げます。インド系の職員や子供がいる職場や学校でもディーパバリをお祝いする行事が開催され、インド系以外含め全員でお祝いします。



リトルインディアのイルミネーション(左:孔雀デザインのゲート、右:連なる華やかなゲート)

2. インドではDiwari(ディワリ)をきっかけにした消費動向が経済を左右？

インドではこのディワリ前後1か月程度が一年で最大の商戦と言われていています。そのため、耐久消費財なども例年9月頃～10月に新品へ買い替えるなどのニーズが多いと聞きます。パンデミック期間中もアジアではいち早く経済が回復し、オンラインビジネスが零細小売店にまで浸透したインドでは、今年のディワリ商戦が大変好調な結果になりそうです。Nikkei Asiaによれば、Diwali商戦第1週目のオンラインショッピング売り上げ予想が2018年に比べて約3倍の60億米ドル(約9,000億円)となっています。消費の力強さを感じるとともに、ディワリ商戦がインド経済をまさに左右する一大イベントであることがよく分かります。

3. おわりに

正月という日本では厳かな雰囲気や心穏やかに過ごすというイメージですが、インドのような派手な形もまた興味深いものです。パンデミックで停滞したムードを吹き去り、景気回復の起爆剤としての正月商戦が日本でも爆発的に伸びることを来たる年末から来年にかけて大いに期待したいものです。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp